

ふれあまち

題字: 早梅 書

山王山 (さんのうやま) 153m

水害から身を守る～
「自分の命は自分で守る」ための災害・避難カード

しもうちふれあいまちづくり協議会 令和4年11月7日発行

※ 自宅の安全を確認しておこう!

- ハザードマップを確認する (自宅は安全な場所か)
- 避難先を確認する (親戚、知人宅、公共の避難場所、複数の避難先を用意)
- 避難の際に持っていくものを準備する (自分に必要なものは何だろう)

※ 避難するための情報は、「関市ホームページ」から集めよう!

- 防災関連情報などの最新情報に注意しましょう
- 災害への心がまえを高めましょう

※ 安全に避難完了するために考えて記入してみよう!

1. 安全な避難場所を探そう
例) 家の○○
2. 誰と避難するか確認しよう
例) 高齢の母とおとなりの家族みんなまで避難
3. 何を持って避難するか確認しよう
例) 現金簿・防災グッズ
4. どんな手段で避難するか考えよう
例) 車で避難 (荷物が多い、高齢の母がいる)
5. 安全に避難するためのタイミングを考えよう
例) 警戒レベル? (避難所が遠方のため)



命がけの脱出にならないように、早く避難しましょう。



P2 下有知地区「災害・避難カード作成事業」

P3 関市消防団下有知分団の活動

P4 ふれまち協議会活動報告

P5 ふれまち協議会活動報告

P6 ふれまち協議会活動報告・お知らせ

P7 下有知各区・団体の活動紹介

P8 下有知各区・団体の活動紹介

関市危機管理課による下有知地区「災害・避難カード作成事業」として、7月11日、19日に下有知ふれあいセンターにて「大雨災害と早めの避難」の講演がありました。次いで、10月5日、12日に関市役所にて自治会単位の避難カード作成講習がありました。「災害は忘れたころにやって来る！」(詳細は後述)

下有知の各種情報をホームページで閲覧できます
スマートフォンはQRコードでご覧いただけます
下有知ホームページのQRコード
パソコンからは **しもうち** で検索してご覧下さい



下有知地区「災害・避難カード作成事業」の実施

- ・ 平成30年に発生しました7月豪雨災害を受けて、岐阜県及び関市は重要な防災対策として、「災害・避難カード作成事業」を推進しています。この事業は、洪水災害に備えて適正な避難行動ができるよう、各世帯の安全な避難場所、避難行動、日頃の備えなどについて勉強し、家族や地域で話し合い、「どのような情報をもとに」「いつまでに」「どこに」「誰と」「何を持って」避難するのかを事前に考え、準備しておくことが目的の取り組みです。
- ・ 令和元年度に上之保・武儀・富野地区、3年度に武芸川・洞戸・板取地区で事業を展開しました。今年度の実施地区は「下有知・西部・池尻・広見・小瀬」が対象になります。
- ・ ハザードマップからお住いの地域にある浸水害・土砂災害の危険を知り、安全に避難するための準備や心構えについて考える勉強会です。ワークショップ形式で地域の皆さんと話し合いながら安全な避難について学び、最終的には災害・避難カードを完成させます。

(1) 全地区勉強会 防災減災講座

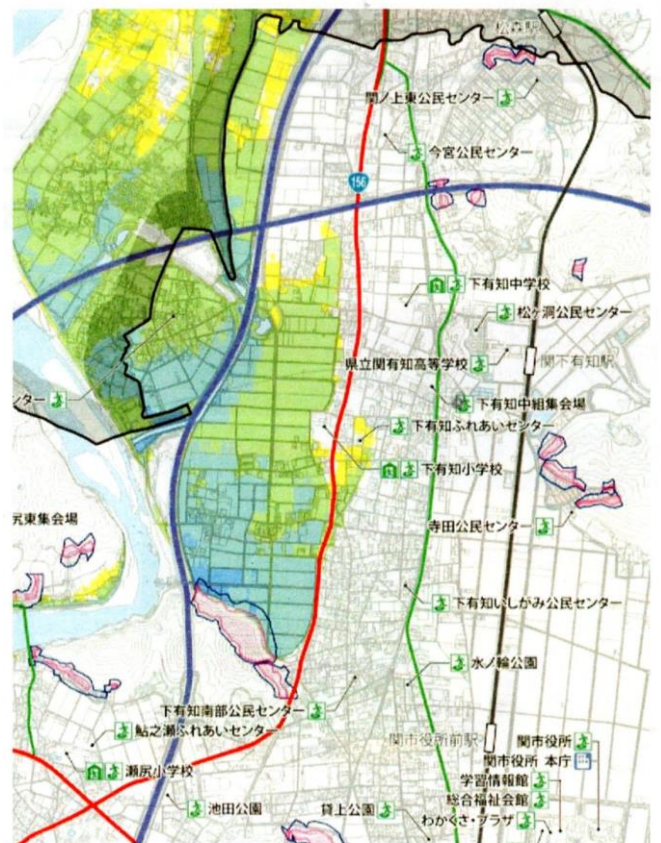
7月11日(月)(1区・2区・3区・4区・5区)、19日(火)(6区・7区・8区・9区・10区・11区)に、自主防災会等の代表者を集め、清流の国ぎふ防災・減災センター 村岡治道特任准教授によるテーマ「大雨災害と早めの避難について」講演と防災減災講座(勉強会)を下有知ふれあいセンター会議室で行われ、「安全に移動できる内に、安全を確保できる所へ、早めに避難する」ことの大切さを学びました。



(2) 自治会単位災害避難カード作成

10月5日(水)(1区・2区・3区・4区・5区)、12日(水)(6区・7区・8区・9区・10区・11区)に、自主防災会等の代表者・自治会長・副自治会長・防犯防災部長・民生委員・防災指導者・消防団を集め、自治会単位の災害避難カードの作成勉強会が関市役所で行われました。講師は防災減災講座にも来ていただいた村岡先生でした。ワークショップ形式で、安全な避難について学び、災害・避難カードの下書きを行いました。各家庭でも関市ホームページやハザードマップ等の情報から災害・避難カードを作成して、災害時に役立ててください。(災害・避難カードは後日に配られる予定)

《右の図は、計画規模降雨(即ち2日間降雨総量366mm)のシュミレーションマップです。》



消防団下有知分団の活動



体験型防災訓練

自主防災会

火災・災害発生時の後方支援

消火栓の点検

消火訓練

消防団は、地域の生命と財産、身体を守るための活動をしており、特に火災・災害発生時には多くの人手が必要です。消防団下有知分団では団員確保が難しい状況が続いており、団員の多様化する生活環境に合わせた活動を進めているところです。地域の皆様には、より一層消防団活動をご理解いただきたいと思い本紙に掲載をしていただきました。また、消防団活動に興味を持ってくださる方を1人でも増やしたいと、そう願っています。消防団下有知分団長 石原 照和

団員数計 70人
分団長 1人
副分団長 5人
山王班 10人
長保寺班 10人
中組班 17人
今宮班 17人
東志摩班 10人

車両計 5台
ポンプ車 1台
積載車 2台
軽積載車 2台
消火栓 158箇所
防火水槽 35箇所

主な活動

- ・消火栓、器具等の点検
 - ・火災、災害発生時の後方支援
 - ・操法大会・年末夜警※1
 - ・火災、災害発生時に備えた訓練※2
- ※1：令和4年度から活動の簡素化
操法大会(6月第1日曜日開催)：4月中旬から練習→計20日以内
年末夜警(夜間の地域内巡視など)：5日間 → 3日間
※2：新型コロナウイルス感染対策により活動が制限

体験型防災訓練(消火器編)

火が出たら「火事だ!」と叫んで、黄色の安全栓(安全ピン)を抜いて、ノズルを火元に向けて、レバーを握って噴射、消火訓練を体験しました。



入団後の団員の声

- ・団員同士のつながりが増えた。
- ・人見知りだけど輪に入れた(自分のペース・考え方を尊重してくれる。)
- ・自治会の人に顔を知ってもらった。
- ・強要されることが多いと聞いていたが、そうでも無かった。



子どもを応援する団員

しもうちふれあいまちづくり協議会活動報告

「しもうちふれあいまちづくり協議会」で実施した活動を次のとおり報告します。

今年度になっても、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みて、事業を縮小・中止にせざるを得ない状況が続いております。今後の感染状況が拡大に向かわず収束することを願いつつ、下有知地区住民が一体となった住みよい地域づくりを目指します。

関市長へ要望書提出

(9/29 総務・自治部会)

下有知地内における危険箇所や舗装などの改善について、令和4年9月29日(木)に関市長へ要望書を提出しました。今年度は新規、継続合わせて40件を要望しました。このような地域の課題は個人で解決することは難しく、地域で力を合わせなければならぬため、改善要望は地域内で調整し、地域全体の共通課題として市へ提出するものです。今後も、こうした要望活動により課題の改善が図られるよう継続的に働きかけていきます。



「敬老の日」 記念品配付

(10/15～ 福祉・子育て部会)

これまで、長きに渡って私たちの下有知地区を守り抜き、発展を導いてみえました先輩の皆さまのご尽力に感謝しご長寿をお祝いするため、下有知在住の敬老会対象者(77歳以上)686名の皆さまに記念品をお渡ししました。本来であれば会を催し楽しくご歓談いただきたいところでしたが、コロナ禍によりかなわず記念品のお渡しに替えさせていただきました。

なお、敬老会開催の財源となる関市敬老事業補助金の基準が令和3年度に見直され、補助事業内容や対象者等の変更が行われました。

その結果、令和3年度より毎年1歳ずつ繰り上げ、今年度は77歳で、3年後の令和7年度には80歳以上となります。



下有知地区全域でクリーンアップ (5/29 生活・環境部会)

令和4年度第1回目のクリーンアップ活動が5月29日(日)に行われました。下有知地区全域で一斉に道路・空地等に捨てられたゴミを拾い、地域の集会場等に持ち込まれ、地域の役員さんが下有知ふれあいセンターに持ち込まれました。皆さん多数参加していただきましてありがとうございました。

今後もゴミのポイ捨て防止・ゴミの適正処理などきれいな地域づくりにご協力をお願いいたします。



長良川鉄道沿線草刈り

(6/19 生活・環境部会)

6月19日(日)、しもうちまちづくり協議会、下有知1区・3区・4区・5区・6区、関下有知駅部会、長良川鉄道等の関係者が参加して下有知地区内の長良川鉄道沿線の草刈りを実施しました。地域内を走る鉄道を支援するもので、景観の保全と踏切の見通し確保による事故防止に、皆さん頑張ってくださいました。ご協力ありがとうございました。

※ 長良川鉄道だけでは、要員や資金の不足で、下有知全域の草刈りが出来ないことから、合同で実施しています。



グラウンドゴルフ大会

(6/5 健康・スポーツ部会)

6月5日(日)に、健康・スポーツ部会主催で、グラウンドゴルフ大会を下有知グラウンドで開催しました。気温27度の快晴の中、新型コロナウイルスによる感染拡大を考慮して、参加者全員がマスクを着用しての競技となりました。

和気あいあいと進んだ対戦結果は、1位は篠田強さん、2位は山田利勝さん、3位は山田三根子

さんでした。皆さん、お疲れ様でした。



親子クッキングレシピ配布

(7/24 健康・スポーツ部会)

例年は下有知ふれあいセンターで親子クッキングを開催していましたが、今年は家族で料理を楽しむレシピ（みんなの顔のラップごはん、ひと口焼き鳥、ブロッコリーとカボチャのサラダ、味くらべポップコーン）をお配りする形での実施となりました。コロナ禍でもあり、この機会に家族で食育を考えて庭に畑を作り親子で野菜作りに挑戦された方もありました。料理にチャレンジしたり、日々育つ野菜を育てたりする

経験を通じて、食に対する知識とバランスの良い食事を選択する力がついたのではないのでしょうか。



夏休みふれあい教室

(7/28~8/3 福祉・子育て部会)

安心・落ち着いて学習できる場所を提供することを目的として、今年の夏休みも、ふれあいセンター多目的室にて開催しました。

7月28日、8月2、3、10、18日の10~12時で平均5~7人の子が参加しました。最後は天気のためか、参加者はありませんでしたが、みんなルールを守り静かに学習していました。

コロナ禍が長引き行動制限されるなか、ルールや感染予防に対する子どもたちの意識が高く、改めて教育の大切さを感じました。



第2回カローリングしもうちカップ(10/15 健康・スポーツ部会)

10月15日(土)にカローリングしもうちカップを下有知中学校体育館で開催しました。

カローリングは、フロアコートで1チーム3人のプレイヤーが直径90cmのポイントゾーンに向け、6個のジェットローラを相手チームのプレイヤーと交互に走行してぶつけ合い得点を競うゲームです。

14チームが参加し、チーム戦2試合での総得点の結果順位は、1位重竹チーム、2位大鍬的治チーム、3位平野宏明チームでした。



お知らせ



さる8月29日(月)に実施された関市民リサイクル推進協議会総会において、「長年にわたり、下有知東部の不法投棄されたペットボトル等を毎日回収し、清潔なまちづくりに貢献している。」として、寺田の鳥本哲夫さんが、関市民リサイクル推進事業功労者表彰を受けられました。

地道な活動を一人で黙々と続けられる姿に頭が下がります。

下有知各区・団体の活動紹介

環境整備作業、墓地、赤谷池・烏帽子岩草刈り ～ ～

各地区で、お盆前の墓地の草刈りや清掃が行われました。

8月7日（日）には、横山墓地や椀ヶ洞共同墓地のお盆前の草刈りが、墓地管理関係者によって行われました。暑くなる前の早朝からの作業でしたが、皆さん頑張ってくださいました。

また、5区では9月4日（日）に環境整備の地区内の草刈実施後、赤谷池と烏帽子岩の周囲の草刈を行いました。この辺りは、池の周囲を散歩したりバードウォッチングしたりする人も見られる関市生活環境課などで環境保全が図られている大切な区域です。お子さんと一緒に散歩されてはいかがでしょうか。



山王山登山道整備 ～ 9/11 山王山登山整備会 ～



登山道整備は7月と8月は暑さのためにお休みしていました。9月になり再開し、今回で43回を数えました。この日は蒸し暑くて風もなく、少し動くだけで汗まみれになりました。

整備を始めて9年という年月を経て、登山道の一部は、土が削られて岩が出てきて細かい砂利ですべるようになりました。そのために、その部分の新ルートを7月と今回の整備で完成しました。また、夏は雨が降ると、草木の成長が早くて駐車場も荒れた状態になりましたので、手入れをしてきれいになりました。山頂に餌台を設置して、自然の餌が少ない時期にヒマワリの種を与えています。そこにはヤマガラ・ヒガラ・メジロが食べに来ます。これらの小鳥は木の洞で繁殖しますが、洞のある太い木が少ないので、今回、初めての試みですが、小鳥の巣箱を設置しました。太目の木で枝のない幹の高さ2.5m程の位置に開けた方向を入り口にして設置しました。秋から冬には、ねぐらとして利用する事もあり、3月後半から4月上旬にかけて繁殖します。子育て中の親鳥はとても神経質で、巣箱の中に入れて驚くと卵やヒナがいても二度と戻らないので、遠くから見守るだけにしてください。

下有知小学校放課後ふれあいクラブの活動 ～9/17～

当初の第5回活動は、修徳会にお世話いただく「グランドゴルフ」でしたが、新型コロナウイルス感染の関係で、交流する場は見送り、「川原石にかぐや姫などを描いて楽しむ」活動にしました。それは、これまでの活動作品と一緒に川原石に描いた作品を「ふれあい文化祭」に展示し、更に、石に描いた「かぐや姫」を山王山登山道「かぐや姫の小径」に置くからです。

参加児童は集中して取り組みました。事前に調べたり、イラスト見本があったりしたこともあり、手際よくかぐや姫を描き、いろいろな画材で各々が豊かに表現することができました。



赤谷池 ウシモツゴ生態調査 ～ 9/18 5区 ～



中組の環境保全事業の一環で、18日（日）午前9時より赤谷池で絶滅危惧種の「ウシモツゴ」の生態調査をNPO法人「ふるさと自然再生研究会」の塚原幸治さんの指導で、池の各所に9つの網の仕掛けを投入して、約30分後に引き上げ、どのような生物が入っているかを確かめました。20匹以上のウシモツゴが入っている仕掛けもありました。その他にスジエビ、ヌマムツ、外来種のアメリカザリガニが入っていました。ウシモツゴ捕獲合計数71匹で順調な生育が確認でき、放流前に2年連続で池干しして駆除したブラックバスやブルーギルは、1匹も入っていませんでした。

平成22年全国豊かな海づくり大会以来、増殖・放流に続く環境保全が続けられています。

詳細は下有知ホームページの『しもうちふれあいまちづくり協議会』
で閲覧できます。 スマートフォンはQRコードでご覧いただけます
下有知ホームページのQRコード
パソコンからは [しもうち](#) で検索してご覧下さい



しもうちふれあいまちづくり協議会

〒501-3217 関市下有知3245番地32（下有知ふれあいセンター内）

TEL 0575-25-2020（FAX共通）

Eメール:shimo-f@ccn3.aitai.ne.jp

ホームページ: <http://shimouchi.jp>